

日本ロボット学会 防災関連の取組み（1）

■東日本大震災関連対応の連携

- ・2011.3東日本大震災関連調査研究委員会立上げ
- ・対災害ロボティクス・タスクフォース(ロボット専門家のボランティアで結成)との密接な連携
- ・日本ロボット技術関連学術団体共同声明
「東日本大震災およびそれに伴う福島原子力災害に対する日本のロボット技術の適用に関する声明」
日本ロボット学会
日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門
計測自動制御学会システム・インテグレーション部門
IEEE Robotics and Automation Society, Japan Chapter
IFTOMM, Japan Council

■東日本大震災関連調査研究委員会活動

- 原子力関係記録作成分科会
 - ・今回の原子力発電災害対応のロボット技術視点の記録
 - ・第30、31回学術講演会にて中間・最終報告実施
 - ・最終報告書上梓(2014.10)
- 災害関係記録作成分科会
 - ・災害関連対応のロボット技術視点の記録
 - ・第30回学術講演会(2012.9)にて最終報告実施

http://www.rsj.or.jp/databox/committees/141001saigu_u_fainal_zanntei.pdf

東日本大震災関連

過去のロボット学会誌における災害対策に関連する論文・解説等の

対災害ロボティクス・タスクフォースに掲載されている、過去のロボット学会誌における等のアーカイブ

▶  [原子力関係の誌載記事ダウンロードできます](#)

対災害ロボティクス・タスクフォース

対災害ロボティクス・タスクフォースでも災害利用可能なロボットの情報集約をしております。技術に関する情報を学会事務局ならびにタスクフォースへの情報提供にご協力ください。

(注) 対災害ロボティクス・タスクフォースです。

▶  [roboticstaskforce-対災害ロボテ](#)

東日本大震災後、本格的に活動開始

東日本大震災関連委員会


東日本大震災関連委員会/原子力関係記録作成分科会(分科会会長 大道委員) :

<目的> 今回の原子力発電災害対応のロボット技術視点の記録

<活動実績> 日本ロボット学会第30回学術講演会(2012/9/17)にて、下記の間活動報告:

1)

 一般公開パネルディスカッション「原子力ロボット技術と可能性」

 ストラテジックセッション: SS4 原子力ロボット技術と可能性 - 第1部-

オーガナイザ: 大道 武生(名城大学), 川村 貞夫(立命館大学)

配布資料:  原子力ロボット技術と可能性-第1部-[PDF]

日本ロボット学会 防災関連の取組み（2）

■調査研究委員会

- ・廃炉に向けたロボットの調査と社会貢献に関する研究会(2015.1発足)
日本原子力学会との連携、廃炉ロボットアイデアコンテストなど
学術講演会オープンフォーラム(OF)
廃炉に向けた日本原子力学会との連携と課題1~3
<http://rsj2017.rsj-web.org/openforum/#OF6>
<http://rsj2016.rsj-web.org/of.html#OF1>
<http://rsj2015.rsj-web.org/of.html>
RSJ2018 OFにて報告予定
- ・広域災害対応に関する技術基盤調査研究委員会(2013.1発足)
防災に関する広い議論

■本会以外の連携

- ・COCN災害対応ロボットの社会実装プロジェクト
2011年から現在まで、産業競争力懇談会(COCN)のプロジェクト
福島対応原子力防災ロボットの社会実装についての政府提言を実施
ロボット用無線周波数の獲得、ドローンの運用基準策定など
2011年以降、学術講演会OF実施。RSJ2018OFでも報告予定
- ・福島復興・廃炉推進に貢献する学協会連絡会
日本原子力学会主催の連絡会
福島環境汚染復興、廃炉推進の技術問題について議論
- ・防災学術連携体

毎年の学術講演会にて進捗紹介

日本ロボット学会
創立: 1983年
目的: 学問領域の進展を目指し、ロボット技術の研究発表と技術交流の場を専門家に提供。会員数: 約4000人